



<定点把握感染症>

疾患名	全国		山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県) 第1~32週
	第31週	第32週	第31週	第32週	増減	第31週	第32週	増減	第31週	第32週	増減	第31週	第32週	増減	第31週	第32週	増減	第31週	第32週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)	(41)			(9)			(7)			(4)			(9)			(12)					
インフルエンザ	157 0.03																				5
小児科定点 (定点医療機関数)	(27)			(6)			(5)			(3)			(6)			(7)					
RSウイルス感染症	7192 2.32	31 1.07	29 1.07						3 0.43		▼	1 0.33	△	26 4.33	22 3.67	▽	2 0.29	6 0.86	△		99
咽頭結膜熱	397 0.13	8 0.28	10 0.37	△	1 0.17		▼		2 0.29		▼			3 0.50	6 1.00	△	2 0.29	4 0.57	▲		370
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	879 0.28	5 0.17	4 0.15	▼	1 0.17		△		3 0.43		▼			2 0.33	2 0.33			1 0.14		△	381
感染性胃腸炎	7376 2.38	66 2.28	48 1.78	▽	21 3.50	8 1.33	▽		19 2.71	20 4.00	▲	4 1.33	8 2.67	▲	16 2.67	12 2.00	▽	6 0.86		▽	5546
水痘	193 0.06	1 0.03	4 0.15	△		2 0.33	△			1 0.20	△							1 0.14	1 0.14		74
手足口病	10307 3.32	92 3.17	113 4.19	▲	24 4.00	27 4.50	▲		15 2.14	22 4.40	△	1 0.33		▼	11 1.83	25 4.17	▲	41 ◎5.86	39 ◎5.57	▽	315
伝染性紅斑	37 0.01																				7
突発性発しん	898 0.29	8 0.28	7 0.26	▼		2 0.33	△								6 1.00	3 0.50	▽	2 0.29	2 0.29		368
ヘルパンギーナ	2437 0.79	43 1.48	61 2.26	▲	3 0.50	13 2.17	▲		2 0.40		△			7 1.17	11 1.83	△	33 4.71	35 5.00	▲		199
流行性耳下腺炎	72 0.02	2 0.07	2 0.07						1 0.33		▽			1 0.17	1 0.17			1 0.14		△	20
眼科定点 (定点医療機関数)	(7)			(1)			(2)			(1)			(1)			(2)					
急性出血性結膜炎	1 0.00																				0
流行性角結膜炎	121 0.18																				57
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2 0.00																				1
クラミジア肺炎	2 0.00																				0
マイコプラズマ肺炎	5 0.01																				2
細菌性髄膜炎	2 0.00	1 0.10		▽														1 0.33		▽	1
無菌性髄膜炎	8 0.02																				0

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

<全数把握感染症>

疾患名	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
腸管出血性大腸菌感染症	7	3		1		※内、第31週追加報告(3) 型別 ○血清群 ヘロ毒素 報告数 O157 VT1VT2 5 O157 VT1 2 O157 VT不明 1 OUT VT2 2 不明 不明 1
レジオネラ症				1	1	
アメーバ赤痢	1					※第31週追加報告分
梅毒					1	

<通信欄>

新型コロナウイルス感染症について

新規陽性者数が急速に増加しています。
不織布マスクの正しい着用、換気の励行などの一般的な感染防止対策を徹底し、ワクチン接種を検討いただけるようお願いいたします。
また、感染に対する不安を感じたら、県内の薬局やドラッグストアなどにおいて無料でPCR等検査を受けることができますので、積極的に利用してください。
(検査は、無症状の方が対象です。)

◎無料のPCR検査等について(山形県HP) →

※ 山形県の新型コロナウイルス感染症に関する情報は、[新型コロナウイルス感染症に関するポータルサイト\(県庁HP\)](#)をご覧ください。

※第32週定点医療機関数(変更ありは赤字)

	山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		計	
	通常	32週	通常	32週	通常	32週	通常	32週	通常	32週		
インフルエンザ定点	9	9	10	7	4	4	9	9	12	12	44	41
小児科定点	6	6	7	5	3	3	6	6	7	7	29	27
眼科定点	1	1	3	2	1	1	1	1	2	2	8	7
基幹定点	2	2	2	2	1	1	2	2	3	3	10	10

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									0
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	1	9	8	4	5		2								29
咽頭結膜熱		2	4	3			1								10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1		1					1			1		4
感染性胃腸炎		4	12	6	9	6	3	2	3		1	1		1	48
水痘							1	1	1			1			4
手足口病		15	49	26	11	5	3	1			1	1		1	113
伝染性紅斑															0
突発性発しん		2	4	1											7
ヘルパンギーナ		5	21	21	9	2	1	2							61
流行性耳下腺炎			1				1								2

< 令和4年6月 月報 >

2022年7月27日 発行

疾患名	山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県)	
	5月	6月	5月	6月	5月	6月	5月	6月	5月	6月	5月	6月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	16	15	10	4			2	4	3	3	1	4	83
	定点当り	1.60	1.50	3.33	1.33			2.00	4.00	1.50	1.50	0.33	1.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	4	12		6			2	2	2	2	2		27
	定点当り	0.40	1.20		2.00			2.00	1.00	1.00	0.67	0.67		
尖圭コンジローマ	報告数	1	3	1			1			1		1		12
	定点当り	0.10	0.30	0.33			1.00			0.50		0.33		
淋菌感染症	報告数	3	2	1					1			1	2	12
	定点当り	0.30	0.20	0.33					0.50			0.33	0.67	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	2	3	1						1		1	2	19
	定点当り	0.20	0.30	0.50						0.50		0.33	0.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	7	9	2		1	2	1	3			3	4	76
	定点当り	0.70	0.90	1.00		0.50	1.00	1.00	3.00			1.00	1.33	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													0
	定点当り													

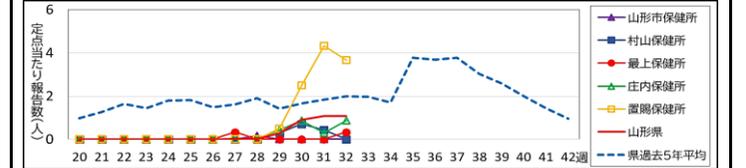
<トピックス>

夏の感染症に注意しましょう!

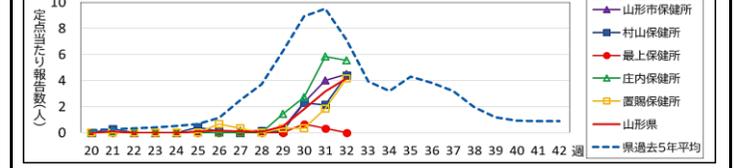


連日、新型コロナウイルス感染症の新規感染者が多く報告されていますが、夏に子どもを中心に流行しやすいRSウイルス感染症、手足口病、ヘルパンギーナの報告数も多くなっています。

<RSウイルス感染症>
 主な症状は発熱や鼻汁で、多くの場合は軽症で済みますが、初めて感染した場合は症状が重くなりやすいといわれています。感染経路は、飛沫感染と接触感染です。



<手足口病>
 手足口病は、口の中や手足に水疱性の発疹がでる感染症で、発熱はあってもあまり高くないことがほとんどです。感染経路は、飛沫感染、接触感染です。治った後も長い期間便中にウイルスが排出されるので、手洗いの徹底が重要です。



<ヘルパンギーナ>
 症状は、突然の発熱に続いてのどの奥を中心とした口腔内に、発赤や、小さな水疱が現れます。水疱はやがて破れ、強い痛みを生じるため水分を摂りにくくなり、脱水症状に注意が必要です。感染経路は飛沫感染と接触感染です。治った後も長い期間便中にウイルスが排出されるので、手洗いの徹底が重要です。

